

8月4、5日 大分大会特集②

Newspaper In Education

臼杵市北中学校はNIE実践指定校3年目になります。これまで、全教科、全領域で学校を挙げてNIEに取り組んできました。さまざまな授業や行事などで実践する中で新聞紙を目さに心を動かされます。そんな新聞との出会いもあると思うの



コラージュ、感性育む

永松 芳恵

です。小学校低学年は新聞紙で作品を作るなど新聞紙と触れ合うことから始めるそうです。これは小学校低学年だけに限らず、新聞紙と触れ合う機会の少ない中学生にもぴったりの方法です。

本校美術部は新聞紙を切って貼り付け(コラージュ)、年賀状に、ピカソが好んで制作に利用しました。写真の作品は中学2年生の美術部員が、新聞紙の文字や写真を作品テーマに合わせて切り抜いてコラージュしたものです。新聞紙とポスターの色彩が響き合い、観賞者を惹き付ける作品になっています。ポスター制作では記事を貼



り付け、その内容を強調して表現する方法もあります。幅広く新聞を利用すれば、子どもたちの感性を育む楽しい授業を実施できるでしょう。(NIEアドバイザー、臼杵市北中学校教諭)

児童の感想

みんなが読み方アドバイス

▽吉田彩乃さん(3年)



新聞の中“探し物、わくわく

▽蒲原康平君(1年)新聞から写真を探すのはわくわくして、いい写真が見つかったときが面白かった。木に名前を付けるとき、みんなで考えをまとめるのが難しかった。リーダーがいいと思う名前を言って、みんなが賛成したものに決まった。ほとんど毎日、家で新聞を読んでいる。

4こま漫画を見るのが楽しみ。



大分市寒田小



考えながら新聞の写真をまとめていく1年生

1年2組の教室。児童がいろんな新聞写真を貼り付けた模造紙を囲み、あれやこれやと相談している。「これでいいかな」「小さい親子みたいにしたら」「こっちに書いたら」。班ごとに、お気軽に自分の新聞写真を木の形に並べて貼り付けていき、各自のお薦めを伝え合う国語の授業だ。模造紙には自分の姿を描き込み、吹き出しへ感想を書く。最後は木に名前を付け、みんなの前で発表する。

車の写真を集めた男子の班があれば、食べ物の写真を集めた女子の班も。いろんな人の顔写真を集めた女子4人組は「すてきな笑顔いっぱいの木」という名前を付けた。「大人も子ども赤ちゃんもみんなかわいいね」「すてきな笑顔で、心がすつきりして気持ち良くなるよ」と、お薦めを紹介した。

大分市寒田小学校では1~6年

学びと実生活 結ぶ



教育への新聞活用を探る第21回NIE全国大会大分大会が8月4、5の両日、大分市のホルトホール大分などで開かれる。スローガンは「新聞でわくわく 社会と向き合うNIE」。新聞と出会う幼稚園から、社会とつながる大学まで、発達段階に応じた県内の実践例を報告する。

取り組みの狙い
写真で表現力高める

野中 恵子教諭



新聞を活用して授業する野中恵子教諭

1年生のみんなは新聞写真が大好き。絵を描く際に下敷きとして使う新聞紙を取るときでも、いい写真が載っている新聞紙を選んで持っていく。1枚の写真からイメージが膨らみ、絵や言葉を書き足して何かを伝えたい、発表したいという気持ちが自然と出てくるようだ。

2学期は1人ずつお気に入りの新聞写真を探して紹介する活動でしたが、今回はグループをつくり、ジャンルを意識しながら写真を選ばせた。1年生が共同作業するのはまだ難しい部分があるが、今回は好きな物のイメージを共有しているため、話し合いながら考えを一つにまとめることができたようだ。

NIEは先生も楽しいという点が魅力。これほど授業教材に使えるとは思っていなかった。1年生は読める文字に限りがあるが、写真は自由に感じることができる。カメラマンが被写体に向かって愛情や好奇心が、子どもにも伝わっているのではないか。子どもの想像力が広がり、表現力につながっていく。

学年ごとに達成目標

3年生は、記事中の分からない言葉を辞書で調べて友達に記事内容を紹介する。3年生は、記事中の分からない言葉を辞書で調べて友達に記事内容を紹介する。

NIEアドバイザーで、校内の取り組みをけん引する佐藤由美子校長は「ただ新聞記事を読むのではなく、学年ごとに達成すべき目標に沿って新聞教材を取り入れてほしい」と説明。「記事の中から算数で習った小数を見つけるなど、学校で習ったことと実生活を結びきるようになり、2年生になるころには知っている言葉と新聞写真を組み合わせてどんな内容の記事か、類推できるようになるといふ」。



班ごとに集めた新聞の写真について話合う児童